

全国大会および支部大会における発表分野の改定について（報告）

(1) 改定の趣旨

近年の学術的・社会的動向を鑑みるとともに、本学会の研究の活性化を意図して、長年変更されていない本学会の発表分野の枠組を改定する。なお、本改定における分野とは学会発表等における枠組であり、個々の会員の研究領域や内容を学会として規定するものではない。

(2) 経過報告

会員を対象に、オンラインで改定案についてのアンケートを実施（2022年5月25日～6月30日）した。また、第72回全国大会発表論文集においてアンケート結果を公表するとともに、大会会期中にアンケート結果に基づいて修正した改定案を提示しながら会員との意見交換を実施した。意見交換に際し、改定に反対する趣旨の意見は無く、欧米との違いや今後見直しをする場合はどのような手順が考えられるのかといった質問があり、説明等を行った。

最終的に、2022年12月18日開催の2022年度第4回理事会において以下の改定案と各分野の説明を提案し承認された。

表1 発表分野の改定（新旧比較対照）

改定前	改定後
教員養成	教員養成・教師教育
理科教育論・理科教育史	理科教育論・理科教育史
-	科学史・NOS・科学哲学
諸外国の科学・理科教育	国際比較
教育課程・カリキュラム	教育課程・カリキュラム
学習心理・教育評価	教育評価
-	認知・動機づけ・概念形成と発達
授業研究・学習指導	-
幼児教育「環境」領域・生活科教育	幼児期の科学教育・生活科教育
物理教材・教育法	-
化学教材・教育法	-
生物教材・教育法	-
地学教材・教育法	-
-	学習指導・教材（小学校）
-	学習指導・教材（中学校）
-	学習指導・教材（高校・大学）
環境教育・STS教育・STEM教育・総合的学習	複合領域（環境・総合・STEM・SSI等）
教育工学・情報教育	教育工学・ICT
-	文化・社会・ジェンダー
-	社会教育施設（博物館・科学館等）との連携
-	研究方法論

(3) 各分野の説明

- 教員養成・教師教育（現：教員養成）
教員養成、現職研修など理科教師に関する内容
- 理科教育論・理科教育史（変更無し）
理科教育論や理科教育史など理科教育の原論に関する内容
- 科学史・NOS・科学哲学（新規）
科学史や Nature of Science、科学哲学など科学についての学習・研究に関する内容
- 国際比較（現：諸外国の科学・理科教育）
日本と諸外国など比較に関わる内容
- 教育課程・カリキュラム（変更無し）
教育課程、カリキュラムなどに関する内容
- 教育評価（現：学習心理・教育評価）
理科教育における評価（assessment, evaluation）に関する内容
- 認知・動機づけ・概念形成と発達（新規）
認知、思考、学習意欲、概念形成やその発達などに関する内容
- 幼児期の科学教育・生活科教育（現：幼児教育「環境」領域・生活科教育）
教科「理科」の教授-学習前の段階における教育等に関する内容
- 学習指導・教材（小学校）（新規）
初等教育における理科の学習指導、教材研究などに関する内容
- 学習指導・教材（中学校）（新規）
前期中等教育における理科の学習指導、教材研究などに関する内容
- 学習指導・教材（高校・大学）（新規）
後期中等及び高等教育における理科(科学)の学習指導、教材研究などに関する内容
- 複合領域（環境・総合・STEM・SSI等）（現：環境教育・STS教育・STEM教育・総合的学習）
環境教育、STEM/STEAM、SSIなど複合的、領域横断的な教育に関する内容
- 教育工学・ICT（現：教育工学・情報教育）
教育工学的アプローチやICTの活用に関する内容
- 文化・社会・ジェンダー（新規）
文化、社会、ジェンダーなど多様性（ダイバーシティ）に関する内容
- 社会教育施設（博物館・科学館等）との連携（新規）
博物館、科学館、動物園、水族館などの社会教育施設との連携に関する内容
- 研究方法論（新規）
質的・量的研究など多様な研究方法論及び実施前の研究計画に関する内容